

令和6年2月17日にこの編集後記を執筆しております。つくばでは早咲きの梅の花がきれいです。2023年（令和5年）5月8日に“コロナ”の位置づけが2類相当から5類へ変更になってしばらく経ちましたので、今年は何の規制もなく、梅の花を楽しむことができます。年号の切り替わりの頃がうる覚えなので念のために調べてみると、2019年5月1日に年号が令和元年に代わっていました。2020年（令和2年）は、年のはじめから“コロナ”の騒ぎになりましたので、今年令和の時代になってはじめて穏やかに梅の花を観ているということになります。

「令和」は万葉集「梅花の歌」からの引用とされています。はじめての日本の古典由来の年号で「日本がもつ四季折々の自然や文化を後世に残したい」という思いがこめられています。ところが、穏やかな日々を願う気持ちとは裏腹に、「令和」は激動の時代となってしまいました。“コロナ”の騒ぎで社会が大きく変わりました。

われわれのライフスタイルも大きく変わりました。学会を例にとると、“コロナ”の影響で多くの学会がwebでの開催を余儀なくされました。当初は配信のトラブルが相次ぎ、早く皆が集まれる以前の学会に戻りたいと願ったものでした。しかし、慣れというのは恐ろしいもので、そのうちにweb会議に違和感がなくなりました。逆に多くの学会をweb会議として開催した経験から、web会議の利点も十分に理解できるようになり、現地開催が可能になった今でも、適宜web会議を併用する新しいかたちでの学会が開催できています。望んだわけではありませんが、自ずと学会の変革に至ったということになります。

さて、今回の特集「機能性神経障害（FND：ヒステリー）診断の革命」ですが、まさしく革命という題にふさわしい素晴らしい内容です。従来は心因性疾患、変換症、転換性障害、ヒステリーなどの疾患名で扱われていた障害を「機能性神経障害（FND）」という新しい概念でまとめています。これまでの除外診断ではなく、積極的な診断を提唱しています。われわれ脊椎脊髄外科医にとっては、手術に際してFNDの鑑別が必須です。われわれは、本特集が提唱する陽性徴候によるFND診断を取り入れることで、より科学的にFNDの診断・鑑別を行うことができます。まさしく「診断の革命」と呼ぶにふさわしい特集であり、FNDの診断に真正面から取り組んだ特別な一冊といえると思います。

（山崎正志）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小柳知彦
田代邦雄 国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志（編集委員長）
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 37 No. 2 (2024年3月15日発行)

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,500円＋税）

（配送料別）

年きめ予約購読料 33,300円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2024,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。